

**QSK** 一人は皆のために 皆は一人のために

福岡県脊髄損傷者連合会  
2019年2月10日

# わだち

NO. 212

福脊連ホームページアドレス [www.normanet.ne.jp/~ww101926/](http://www.normanet.ne.jp/~ww101926/)

## 「消えた労働者」の狭間で…ミッシング・ワーカー (111)

「消えた労働者」ミッシング・ワーカー 「働く」と「介護」の狭間で…(NHKスペシャル 初回放送 2018/6/2・午後9時～6時46分)より、恐業の毎月勤労統計問題が報道されるが、「働く」その実態・真相を追って視る。「ラ、働き盛りのはずの四〇代・五〇代に異変が起きている。長期間、働けずにいる労働者が急増しているのだ。彼らは求職活動をしていないため、雇用統計の「失業者」に反映されず、労働市場から「消えた」状態だ。こうした人は先進各国でも増加し、欧米の社会学者は「ミッシング・ワーカー」として問題視している。日本では、四〇代・五〇代の「失業者」の数は七万人。一方、専門家の推計で『ミッシング・ワーカー』は一〇三万人に上る。背景には、非正規労働の急増がある。非正規労働者は転職を繰り返すうちに、低賃金かつ劣悪な仕事しかなくなり、転職に失敗すると、八方ふさがりの状況に陥る。中年になるのと病气や親の介護など、様々なことから転職につまずき、その結果、労働市場から排除された状態が長く続き、ミッシング・ワーカーとなってしまふのだ。さらに深刻なのは、独身中高年が増えていることだ。四〇代・五〇代の独身中高年は、六五〇万人。親の年金などに依存している『消えた労働者』の問題が見えにくく、支援が行き届かないまま事態が深刻化するケースが続出している。番組では、「ミッシング・ワーカー」の実態に密着ルポで迫るとともに、解決の糸口を探る。

「働く」ことを諦め、求職活動さえできなくなる人は、統計に反映されず労働市場から消えた状態となる。こうした人たちを、労働経済学の専門家は、『ミッシング・ワーカー消えた労働者』

## 《わだち目次》

- !この国の行方…の問い!(111) ……1P
- 田中正造の闘いと福島原発事故 ……5P
- 貧乏暇あり ……8P
- 事務局からのお願い ……9P
- 脊髄損傷治療に朗報 ……10P
- アンケートご協力のお願い ……12P
- 公務部門における障害者雇用に関する基本方針 ……13P
- 今月の時事 ……16P

# 田中正造の闘いと福島原発事故

文化体育部長 久保 親志

## はじめに

東日本大震災の発生から三月一日で八年が過ぎました。

死者は一万五八七人、行方不明者は二五三三人、震災関連死は三七〇一人となっています。故郷を離れて、不自由な避難生活を続ける人は約五万二千人。避難先は四七都道府県の全てに及びます。

地震のあった一四時四六分、各地に犠牲者を悼む鎮魂の祈りが広がりました。二〇一一年三月一日、東日本を襲ったマグニチュード九、〇を記録した大震災から八年を過ぎて考えさせられたのです。

この未曾有の震災による被害は、地震だけでなく、津波、さらには原子力発電所の

爆発と放射線漏れなどにより、極めて広い範囲の地域社会全体に及んでいるのです。

また、放射線による被害は、農作物、魚介類だけでなく、水や土壌という生活基盤全体に広範で深刻な汚染を招いています。日本で初めての公害事件といわれる「足尾銅山鉱毒事件」の解決に命を懸けて奔走した真の政治家、田中正造(一八四一〜一九一三年)

が亡くなって今年で二〇六年の節目を迎えました。鉱毒事件と福島原発事故の根本的類似性に着目して田中正造の思想や生き方から東日本大震災後の日本社会の在り方を探ろうと改めて関心が集まっているのです。鉱毒と放射能の違いはあっても、それを撒いた加害企業は政府と親密な関係で、被害住民は塗炭の苦しみを強いられたのです。百年以上の時間を隔てながらも、両者は類似しているのです。

足尾銅山事件で反対運動の闘いの先頭に立って田中正造は政府を激しく糾弾したのです。その言葉と歩みは、いま私たちに何を伝えるのでしょうか。

## 足尾銅山鉱毒事件

明治時代、当時の近代技術の粋を集めたはずの栃木県旧足尾町(現日光市)の古河市兵衛が経営する「足尾銅山」から流出した鉱毒により一八八四年の暮に近くの山林樹木が枯死しました。

また、翌年夏、渡良瀬川の鮎が大量に死んだのです。さらに、一八九〇年夏の大洪水で渡良瀬川流域の田畑や農作物に甚大な被害を与えま

した。銅精錬所からの排煙による周辺山林の枯死と山林濫伐によって、洪水の回数と規模が増していったのです。

一八九六年秋の大洪水では、被害は栃木、群馬、埼玉、茨城の四県に及んで一気に拡大したのです。

鉱毒とは、鉱山の精錬所等から重金属が多量に含まれた廃水と浸透水そして排煙によって生じる害毒です。足尾銅山から廃棄された硫酸銅は、足尾山地を水源とする渡良瀬川を汚染し、下流沿岸の耕地を荒廃させました。

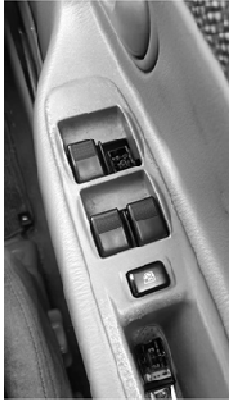
被害は足尾銅山の産銅量が激増するに伴って表面化し、渡良瀬川の魚類が捕獲できなくなっていくきました。

そして、住民の生命を奪い、居住地や財産を奪い、さらには仕事をも奪い取っていったのです。足尾銅山鉱毒事件が初めて帝国議会を取り上げら

## 貧乏暇なし

### 愛車 風と共に去りぬ。

70歳の誕生日を前にわが愛車の車検が近づいてきた。前回点検時に指摘され半年前にタイヤとバッテリーを交換していた。(同時に錆が出ていたの指摘もされていたが。)自動車工場から「そろそろ車検ですが何時にいたしましよっ?」という案内ハガキが届いたり、電話がかかってきていて日取りを考えていた。ところが突然パワーウィンドーのスイッチが壊れてしまった。



他の場所の窓ならば開け閉めしなればよいのだが運転

席のウィンドースイッチはそうはいかない。駐車場の料金精算、窓を開けての会話等々、大変不便である。知人に相談し中古の部品を探してもらい「OK」と思ったら形式が若干違い合わず、ディーラーにも問い合わせると、かなり高価格である。

タイヤやバッテリーを交換したことももあり悩んだが「錆が出ている」ということを思い出し、また、タイヤの交換の理由が「溝はあるもののタイヤサイドのヒビ」が原因である。

「貧乏暇なし」で移動・お出かけは車を使わずバス(市営バスは無料)や歩きにして車を動かさずにいたのが原因かもしれない。今後の車の利用頻度を考えた時、現状の使用形態では今後自然劣化は免れないと判断し廃車



を決定。整備ができる知人の要望で譲ることにした。

改めてわが運転歴を振り返ってみる。乗り替えた車は6台、50年の運転歴である。18歳、学生だったが、近所に自動車学校の教官をしている方がいて勧められ普通免許を取

得した。免許区分が改正され軽免許がなくなり、また大型免許がいきなりとれる最後の時期だったと聞いている。その後20歳で受傷したため再交付を受けた

が、その当時、福岡県は下肢障害者の免許は軽自動車限定だったので制限されてしまった(他県は制限がなかった)。その後、福岡県も重量制限が次第に緩和されていったが、私の免許証は一、五トン制限

のままである。

従って、知らずに無免許運転をしたことが数度ある。

軽免許で知人の普通車に乗ったり、買い替え時の代車が重量オーバーだったり、後から気がついて、冷や汗をかいたものである。買い替え代車の時は、業者の都合で一週間ほどかかった。ふと代車の車検証を見たら、一、五トンを超えていた。気づいた後の三日間は、通勤で乗らない訳にはいかず、「超」安全運転をしたものである。最後の車は、マツダのデミオ。新車で買ったが、この車が最後の車と決めていたので、車検更新を諦めた今、我が運転人生は終了である。70歳になった今、世間を騒がせている、高齢者の逆走、運転操作ミスでの事故で新聞記事には、載らなくて済みそうである。

(北九州支部 白川長廣)

時間が空きましたが本部からのお知らせを掲載します。  
会費につきましては文中にもありますが年内納付が原則です。

(事務局より)

事務局からのお願い

2018年11月28日

公益社団法人 全国脊髄損傷者連合会  
事務局長 安藤 信哉

(前文省略・白川)

さて、今回は本部事務局からいくつかお願いがありまして、支部長の皆様にご連絡  
させていただいております。各支部にて周知徹底のほどお願い申し上げます。

1. 2018年度会費納入について 今年度分の会費納入期限は2018年12月末日  
までとなっています。未だ会費納入をされていない支部は、3,600円×会員数分(夫  
婦会員及び、会費免除会員は除く)を納付してください。

・本部が把握している会員数と異なる場合、どなたが会費を納入したのか理解できる  
ような名簿等の明細を付して会費を納入してください。※全員分一括納付の場合は名  
簿等の明細付与は必要ありません。

**公平性を期すため会費未納の会員の皆様には脊損ニュースなどの各種サービスを停  
止させていただきます。予めご了承ください。**

上記のことを会員の皆様と会計担当者様へお伝えください。ご不明な点はブロック会  
担当理事へご連絡ください。

2. 来年度の本部役員選挙について

2019年度定期総会にて本部役員の改選が行われます。本部役員には会費をお支払  
いいただいている全ての会員の皆様が立候補可能です。詳しくは来年掲載予定の脊損  
ニュースでお知らせします。

3. その他 ご要望について

来年度から本部、ブロック会、支部が連携して要望活動やロビー活動を行っていく  
予定です。毎年、ブロック会から本部へご要望をいただいておりますが、今後は省庁交  
渉等での要望活動だけでなく各支部の皆様にも自治体へ定期的な要望活動をして頂き  
たいと考えています。こうしたロビー活動に関して何かご要望がありましたらお気軽  
にご相談ください。

以上

どんな障害があっても生き生きと地域で暮らせていけるような社会の実現を目指し  
て力を合わせて頑張っていきたいと考えています。円滑な会務運営に是非ともご協力  
ください。よろしく願い申し申し上げます。

### 脊髄損傷治療に朗報

五十年前の受傷時、私の祖母は、医師に「何とか治らな  
いか?治療費は田畑売っても  
何とかするから」と訴えたそ  
うだ。医師からは「脊髄損傷  
が治せたらノーベル賞もの  
だ」という答えが返ってきた  
と聞いている。おそらく「ノ  
ーベル賞もの」とは「できな  
い」という意味だろう。

半世紀たった今、その「ノ  
ーベル賞もの」が実現しそ  
うなニュースが入ってきた。

二〇一八年十一月三〇日慶  
應義塾大学日本医療研究開発  
機構発表のプレスリリースで  
は「慶應義塾大学医学部生理  
学教室の岡野栄之教授、整形  
外科学教室の中村雅也教授ら  
の研究グループは、これまで  
細胞移植単独では治療効果を  
得ることができなかった慢性  
期の脊髄損傷モデルマウスに

対して、Notchシグナル阻害  
剤で前処理したヒトiPS細胞  
から樹立した神経幹/前駆  
細胞を移植することのみで、  
運動機能を回復・維持させる  
ことに成功しました。」と記載  
された。細胞間の情報の伝  
達経路の一つであるNotch  
シグナルが働かないようにし  
て神経幹/前駆細胞を前処理  
すると、有意にニューロンへ  
と分化するだけでなく、軸索  
の再生を促す作用もあること  
に着目しました。そこで、  
Notchシグナル阻害剤で前  
処理したヒトiPS細胞由来  
神経幹/前駆細胞を、慢性期  
の損傷脊髄へ移植したところ、  
再生や運動機能回復が困難と  
いわれる過酷な状況において  
も、軸索の再生・伸長が起こ  
り、さらに再髄鞘化も誘導す  
ることを発見しました。」とも  
記載されている。慢性期の脊  
髄損傷者(五十年経っていて

も有効かどうかは不明だが)  
に期待を持たせる内容である。  
「これまで神経幹/前駆細胞  
移植単独では治療困難と考え  
られてきた慢性期の脊髄損傷  
に対して、移植前に細胞へ  
のNotchによる前処理を加えるだ  
けで、有意な機能回復が得ら  
れる可能性を示した本研究は、  
慢性期脊髄損傷治療に新たな  
光を与え、これらに苦しむ患  
者に対するヒトiPS細胞由  
来神経幹/前駆細胞移植の実  
現や臨床応用を目指す上で非  
常に大きな一歩であると考え  
られます。」と結んでいる。

難しい言葉が並び、何のこ  
とが判らないが、要はGSI  
という薬で処理をしたiPS  
由来細胞を接着剤として使う  
と、切断された脊髄がくっつ  
く可能性があるということの  
ようである。

思うので、前記記載のプレスリ  
リースを探し出して、正確に  
読み取ってほしい。

一方、二〇一八年十二月二  
八日北海道公立大学法人札幌  
医科大学及び、二〇一九年二  
月二六日付のニプロ株式会社  
ニュースリリースによると、  
脊髄損傷の治療に用いる再生  
医療等製品「ステミラック®  
注」が本年四月から販売(治  
療使用)が開始されるとのこ  
と。以下転載

「ニプロ株式会社(本社:  
大阪市北区、代表取締役社  
長:佐野嘉彦)は、札幌医科  
大学(札幌市、理事長・学長塚  
本泰司)と共同開発を進めて  
いた脊髄損傷の治療に用いる  
「ステミラック®注」につい  
て、二〇一九年二月二六日付  
にて、薬価基準に収載された  
ことを発表した。

ステミラック®注は、二〇  
一八年二月二八日付にて

《 今月の時事 》

「外国人技能実習生 69 人死亡(2015 年～17 年の3年間入管局長は、経緯を把握せず) 12月6日、参議院法務委員会の同省の和田雅樹入国管理局長は、多くの死亡経緯について、「把握していない」と調査不足を認め、調査に乗り出す考えを示した。

(2018/12/06 21:44・共同新聞) 立憲民主党の有田芳生氏が、同日の参院法務委で示した資料によると、国籍別で亡くなった人が最も多かったのは、中国の 32 人、次いでベトナム 26 人、モンゴル 3 人、タイ・フィリピン・インドネシア各 2 人、ラオス・ミャンマー各 1 人、～の順だった。年齢層別では、「20～24 歳」の 24 人が最多で、「25～29 歳」の 22 人、「35～39 歳」の 10 人、が続いた。「自殺」と書かれていた事案が 6 件、「溺死」が 8 件、「凍死」も 1 件あり、「殺虫剤を飲んだ」や「生き埋めとなった日本人を助けようとして、巻き込まれた」などの事案もあった。

その後、入管法改正案の一環で、野党からの要請を受けて、法務省が公開した資料で、そこには、2010 年からの 8 年間で外国人技能実習生が、174 人死亡との記載があり、年齢は 20 代が一番多く、死亡理由の最多が「溺死」となっています。2016 年度に事故や病気で亡くなった、技能実習生・研修生は 28 人。脳・心疾患が 8 人で、**全体の 3 割が「過労死」と考えられている。**(「国際研修協力機構」の報告書) そもそも、「実習生」なのに「解雇」とか、「過労死」とか、まったくもって意味不明である。研修生は、最低賃金どころか、時給 300 円・500 円で長時間労働の実態の報道もある。

失踪や犯罪が発生する背景には、「月に 15 万円はもらえると聞いて日本に渡ったが、実際は 6 万円ほどしか手にできず、母親に泣きながら電話してきた」といった話をあちこちで耳にしたとの報道あり、技能実習の現実は出稼ぎだ。希望した報酬が得られないことは、「極めて深刻な事態」なのだ。野党議員からは、「溺死が多すぎるのは不自然」だ。再発防止のため、死亡状況がわかる個別の資料を示すよう、政府に追加要請した。法務省側は、「プライバシーの問題がある」として、具体的な情報開示の時期には、言及していない。疑義!!この国で働くということは、「生活者としての保障」など「無」で、殺されることは「可」なのだ。平成の終わりに佇み…壊れ行く国、その国の(しん)

- 編集 福岡県脊髄損傷者連合会 会長 藤田 幸廣  
〒816-0804 福岡県春日市原町3丁目1-7  
福岡県総合福祉センター(クローバープラザ)内6階  
TEL&FAX: 092-592-4528  
E-Mail: fukusekiren-kasuga@cello.ocn.ne.jp
- 発行 九州障害者定期刊行物協会 頒価100円(会費に含まれる) 〒812-0054 福岡市東区馬出2-2-18

編集後記

編集中の事ですが、桜の花が満開に近づいてきました。ヒノキの花粉が、多く飛んでいて、鼻が辛いです。(坂本)



この広報誌は、共同募金の配分金を受けて発行しています。